

入賞作品きまる

研修旅行写真コンクール

推薦作品に石橋さん

北海道 栗田さんが獲得へ

財団法人・全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)企画、近畿日本ツーリスト株式会社(明石孝社)協賛による本年度夏季教職員研修旅行行事のひとつ、第二十四回写真コンクールは応募数五百二十五点に達し、例年のように参加者の熱意がうかがわれた。審査会は十月十八日、全修協本部事務局で開かれ、長時間にわたる審査の結果、推薦作品は奥の細道コース、石橋ふじのさんの「関がき」特選には北海道一周Aコース、洲上摩氏の「団長の旅のつづき」、また、北海道知事賞は利尻・礼文コース参加の栗田あきさんの「旅情」、同観光連盟賞は同コース、工藤玲子さんの「利尻富士」がそれぞれ栄冠を勝ち取った。入賞のみならずお祝いをするべく入賞を逸された方がはげしく来年を期していただきたい。総評、作品評および入賞者は次のとおり。(敬称略)

工藤玲子さんに 道鏡

総評

本年の研修旅行は冷夏つづきで一部の地方を除いて全国的に天候も悪く、写真撮影には不利な条件が多かった。しかし応募作品はいずれも素晴らしいものであり、これは予想外であった。最近の研修旅行の特徴としてグループや家族ぐるみの参加が目立ち、そのため記念写真が多くみられるようになった。この種のもの自体に異議はないが、単なる記念写真にとどまるものが多い。うまいとまずい。つまり被写体の人物が極く自然でありたい。この点、いせいにレンズをみつめた写真には「画」としての価値が失われていることを知るべきである。

推薦(賞状と賞金二万円)

「関がき」石橋ふじの(東京)

「暗い被写体から盛りあがるムードがすばらしい。赤いお地蔵さんの衣裳と風ぐるまが写り出た、みごとな効果を出した。斜めになった灯籠をとらえたのも山寺らしい雰囲気十分に伝えている」

特選(賞状と賞金七千円)

「団長の旅のつづき」洲上摩(鹿児島県)

「青函連絡船のなかのステップ。足を伸ばして、いかにも疲れたような団長さんの姿が印象的だ。ピントの合っているのが素晴らしい」

北海道知事賞

「旅情」栗田あき(三重県)

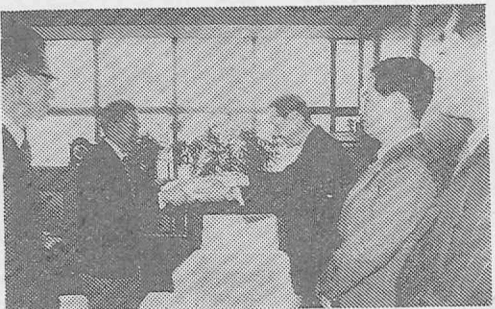
「もうやわやわとしたイカ釣り船の陰影は北海道らしい風景をよくあらわしている。静寂さの漂う漁港のひととき、前面にならんだ船の電球も効果あつた」

佳作(賞状と記念品)

「優佳賞」織田工芸館(高田孝子)

入賞のみなさまへ

推薦、特選、北海道知事賞、北海道観光連盟賞、入選、佳作に入賞されたかたは、その作品の力をかきとって東京千代田区西神田一八七(幅ビル内)財団法人・全国修学旅行研究協会写真コンクール係へお送りください。後日、賞金、記念品を直接本人あてにお送りいたします。



学習の旅シリーズ

—近畿日本ツーリスト—
各教委へ映画を贈る

近畿日本ツーリスト株式会社(明石孝社長)では本年迎えた創立二十五周年記念事業の一つとして、同社が製作した「修学旅行映画学習の旅シリーズ」を各都道府県教育委員会へ贈ることにした。修学旅行の取り扱い業務が一段とたかまる中で同社は修学旅行の事前学習に役立ててもらおうと四区に修学旅行で利用できる映画をおくるが、その数は合計百六十本に達する。

北海道観光連盟賞

「利尻富士」工藤玲子(秋田)

「『ツリ』兄弟の片腕」林ヨシ(山口県)

入選

「花を撮る少年」石井健(山口)

「『花を撮る少年』」石井健(山口)

佳作(賞状と記念品)

「優佳賞」織田工芸館(高田孝子)

入賞のみなさまへ

推薦、特選、北海道知事賞、北海道観光連盟賞、入選、佳作に入賞されたかたは、その作品の力をかきとって東京千代田区西神田一八七(幅ビル内)財団法人・全国修学旅行研究協会写真コンクール係へお送りください。後日、賞金、記念品を直接本人あてにお送りいたします。

発展途上国の展示館も登場

神戸博

「新しい海の文化都市の創造」をテーマとして来年三月二十日から同九月十五日まで神戸市海上の人工島で開かれる神戸博・ポートピア'81の造成は着々と進んでいる。場内をいろいろと諸施設のうち、国際四号館の出展参加国が本決り

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。静寂のなかに憩いのひととき—。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460-4-8595(代表)

思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅

- 阪神/別府航路(毎日3便)
- 阪神/小豆島・高松便(毎日1便)
- 阪神/日向(宮崎)フェリー(隔日1便)
- 東神戸/日向(宮崎)フェリー(隔日1便)

お問合せは—大阪府北区梅田1-1 ☎06-344-7031
東京都中央区八重洲1-4-14 ☎03-274-4273
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船

高原の四季・静かな憩い

「女神湖ホテル」から霧ヶ峰をぬけて旧中仙道で山を下りた。木曾もいだが、山を下って追分までの中仙道の宿場の風情はわざとらしさがなくて、しかも世の中のとおりかわりを感じさせるところが好きだ。

「女神湖ホテル」から霧ヶ峰をぬけて旧中仙道で山を下りた。木曾もいだが、山を下って追分までの中仙道の宿場の風情はわざとらしさがなくて、しかも世の中のとおりかわりを感じさせるところが好きだ。

案内所 東京：千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 電話03-591-8844
大阪：北区小松原町2-4 フコク生命 電話06-312-8988

修学旅行の新しい宿泊地

三重県立水郷自然公園
グラン・スパ

長島温泉

三重県名部長島町
電話 05944-2-1111

木曾、長良、揖斐の三大河川が伊勢湾に注ぐ。風光明媚、健全な環境の一大施設です。